



原田 育美さん
(大塚中町)

旧枕崎駅舎がなくなり、本当にさびしい思いでした。こうやって市民の力が集まって、新たな駅舎が出来て本当にうれしいです。これからの枕崎に期待したいですね。



諏訪賢二朗さん
功侑人くん
(熊本県・折口町出身)

就職して帰ってきたら駅舎がなくなって、残念でしたけど、こうやって寄附でまた駅舎が出来て凄いなと思いました。子どもに枕崎に駅があるんだっていうのを見せて良かったです。



鈴木登さん、光枝さん(茨城県)

夫婦で九州旅行をしていて、端まで行ってみようかと枕崎に寄りました。色もきれいでいい感じの素敵な駅舎ですね。まちもいい雰囲気、また遊びに来たいと思います。



神田 ヲノミさん
(宮田町)

市民のみなさん一人ひとりのおかげですよ。これだけの力が集中したということはやっぱり枕崎ならではの。これを機に市全体が盛り上がりていくといいですね。久しぶりに元気をもらいました。



白澤佳奈子さん
(白沢東町)

高校生の時に枕崎駅から加世田に通っていたんですが、その時は古めかしい感じだったんですけど、こうやって新しくなって、そしてすごくたくさんの人たちが集まっていて地域に支えられてるなって思いました。



原田 泰代さん
真生くん
達生くん
(宮田町)

素敵な駅舎が出来て、立ち寄る場所もできたのでこれから楽しみです。これからはもっと観光客が増えて、枕崎の活性化につながるとういなと思います。

インタビュー 私たちの枕崎駅舎



枕崎駅舎建設期成会会長(市長) 神園 征

4月28日、快晴。初夏のような陽気の下で二千名を超える人出と、式典の最中に到着した二輻編成の列車を満杯にした乗客らと一緒に祝うことができました。成りこそ小さいけれども、故郷に寄せる人々の思いがいつぱい詰まった駅舎です。

枕崎の駅は、最南端の始発・終着駅という旅情を誘うキャッチフレーズを持ちながら、駅舎がなくなって約七年。いかにも淋しいし、悔しい。「よし、市民の力で駅舎を建てて枕崎人の意気を示そう」と思い立ち、多くの方々の賛同をいただき、昨年3月頃、募金活動が始まりました。以後の市民や出身者、各方面からのお力添えはいくつものエピソードが生まれるほど只々ありがたく、私は今、秘かにこの駅を「おかげ様の駅」と呼んでいます。

皆さん本当にありがとうございました。(駅出入口、他の工事はもっと続きます)

枕崎駅舎に掲げられている「枕崎駅」の文字は、本市出身で大相撲立行司36代木村庄之助(本名・山崎敏廣)さんによるものです。5月場所を最後に定年を迎える山崎さんに、再出発を迎えた枕崎駅舎に対する想いを聞きました。

駅舎はふるさとのわが家

「旧駅舎は枕崎のシンボルでした。当時、多くの若者がここから都会へ就職していきました。そんな想い入れの強かった駅舎が取り壊しになったときは、すごく寂しい思いがありました」

山崎さん自身も中学を卒業してすぐ、旧駅舎前から親戚や友人に見送られて上京しました。そんな経験もあり、同級生の間でも「なんとか駅舎が建たないものだろうか」と、お酒を酌み交わしながら話をする人もあったと言います。そして新しい駅舎が建つという知らせを聞いて喜んでたという山崎さん。

ふるさと こところの故郷



36代木村庄之助 山崎 敏廣

昭和23年生まれ、山手町出身。平成23年11月に大相撲立行司の最高位である36代木村庄之助を襲名。平成24年に歴代2人目となる枕崎市民栄誉賞を受賞。

みんなの想い、カタチに 枕崎駅舎が完成

「駅舎のほかに、かつお節行商の像や「山幸彦像」も設置され、枕崎市を宣伝するうえで、一つの名所ができたと思っております。これからは、この駅舎に観光客をはじめ、多くのお客さんに来てほしいです。そのために私たち、ほとんど情報発信をしないといけないですね。東北のある地域では、冬場にストロブ列車を走らせています。そこで現地の特産物を出してお酒も飲めるというものなんですけど、同じように枕崎もカツオを上手く使った新しいものをつくり出せたら面白いかもしれませんね」

このように語る山崎さんから、故郷を想う気持ちが強く感じられました。

枕崎駅のことからは 私たちの手に

これまでに集められた寄附金やこれから寄せられる寄附金については、駅舎の維持管理、またはこれから計画される周辺整備



夜の枕崎駅ホーム

のための経費として充てられることになりました。

今後、周辺整備が進み、全国的にも注目され、多くの観光客が本市を訪れることが予想されます。しかし、それが一時的なものとしてではなく、継続して観光客を増やすためにも、昨年4月に友好都市締結をした最北端始発・終着駅「稚内駅」を有する稚内市との交流や市民ぐるみでの新たな取り組みが必要になってきます。

そのためにも、私たちは駅舎に愛着を持ち、大切に育てていかなければなりません。

「駅舎はこところの故郷」たくさんの方が集う枕崎駅にしていきましょう。